

令和6年6月21日

令和6年(2024年)能登半島地震による 鉄筋コンクリート造等建築物の被害調査報告(速報)をHPで公開

令和6年(2024年)能登半島地震による、輪島市等における鉄筋コンクリート造(以下、RC造)等建築物の被害について、建研及び国総研が実施した調査の速報を建研及び国総研のホームページに掲載します。この調査では、震度6強が観測された輪島市等において、航空レーザ計測により建築物群の面的な被害状況を把握し、RC造等建築物の被害状況について現地で詳細に調査をしました。

主体： (国研) 建築研究所, 国土交通省国土技術政策総合研究所
調査対象： 石川県輪島市河井町・鳳至町, 金沢市のRC造等建築物
調査結果：

- 建築物の転倒や沈下・傾斜といった、地盤の変状および建築物の基礎の損傷に起因すると思われる被害が確認された。基礎部分の損傷程度と比較して、上部構造の損傷程度は小さい。RC造杭基礎建築物の転倒被害は初めて確認された被害であるが、基礎の損傷に起因する傾斜被害や、傾斜・沈下に伴う1階床の盛り上がり等の被害は過去の地震でも確認されている。
- 航空レーザ計測結果に基づいて地盤変位の大きいエリアについて重点的に調査を行い、計測結果と同様の地盤変状が確認された。また、当該エリアにおいて地盤変状に起因する建築物被害も確認された。
- 航空レーザ計測による建築物の被害判定結果と実建築物被害の関係について分析し、一定の整合性が確認された。

本資料は、建研ホームページ及び国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL：

https://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/press/2024/617_2.pdf

【お問い合わせ先】

国立研究開発法人 建築研究所

(内容について)

所属 構造研究グループ

氏名 中村 聡宏

電話 029-864-6635 (直通)

E-mail naka-a@kenken.go.jp

(公表資料(著作権)の取扱いについて)

所属 企画部情報・技術課

電話 029-879-0652

E-mail link-cl@kenken.go.jp